

目 次

改訂にあたって

はじめに

序章 この冊子を手にする人へ…………… 3

第1章 古文書に触れてみる

第1節 初めて触れる人のために

- 1 「古文書」って?…………… 7
- 2 関連するものたち…………… 9

第2節 最初が肝心

－古文書をみて欲しいと連絡があったら－

- 1 最初に何をなすべきか……………11
- 2 所蔵者との関係……………12
- 3 事前調査
－今の古文書の姿を記録する－……………13

第2章 古文書をよりよい状態で後世に残すために
－保存なくして利用なし－

第1節 古文書は発生した場所にあって意味
あるもの

- 1 現地保存の原則……………19
- 2 寄贈・寄付と寄託……………20

第2節 古文書にとってよい環境とは?

- 1 古文書を劣化させるもの……………21
- 2 害虫を寄せつけない工夫……………23
- 3 古文書は何に入ればよいのか
－収納容器を考える－……………26
- 4 収蔵庫を考える……………27

第3節 古文書を修復する

- 1 修復の考え方……………29
- 2 紙資料の修復方法について……………30

第3章 古文書を読んで利用できるようになる

第1節 古文書を読んでみる

- 1 古文書を読む楽しみ方……………35
- 2 古文書のかたち……………35
- 3 古文書に親しむ……………38
- 4 くずし字を読んでみよう……………40

第2節 古文書を整理してみよう

- 1 整理の考え方……………41
- 2 整理の手順……………43

第3節 目録を作る・史料を公開する

- 1 史料目録とは何か
－見たい古文書に行き着くために－……………47
- 2 目録はどう作るか……………48
- 3 「仮目録」の電子化……………48
- 4 公開・利用にあたって……………50

第4節 市民ボランティアと古文書を整理する

- 1 古文書整理の選択肢……………52
- 2 市民ボランティアを立ち上げる……………53
- 3 市民ボランティアを運営する……………55

第4章 災害から古文書を守る

第1節 災害に備える

- 1 災害対応の経験……………59
- 2 古文書の防災と減災……………60

第2節 災害が起きたなら

- 1 被害状況を確認する……………63
- 2 古文書を救出する……………64
- 3 災害と復興を語りつぐ……………65

第5章 困ったときの一問一答……………69

終章 総論 古文書の保存・整理・活用と地域・行政
……………93

協力者一覧・新史料協古文書作業部会委員名簿・
『古文書保存・整理の手引き』ワーキング
チーム・執筆者分担……………96

凡 例

- ・本書は、新潟県歴史資料保存活用連絡協議会（新史料協）古文書作業部会が執筆・編集したものを、ワーキングチームで改訂した。
- ・執筆分担は巻末に記した。
- ・参考文献は逐一挙げていないが、出典明記の必要なものについては、キャプションや本文中に記載した。

